

## 土木費

〔質疑〕白石沖西堀線街路事業の用地買収に係る現在の進捗率について伺う。

〔答弁〕現時点において、用地買収面積で約60%が契約を完了している。

## 教育費

〔質疑〕児童・生徒の基礎学力の向上の手段であるタブレット型パソコンについて、第二小学校での現地調査の際、校長先生からも台数が足りないという話があった。

各学校では、授業は同じ速さで進んでいる。その中で使いたいときに使えないということも聞いている。各学校への貸し出し状況について伺う。

〔答弁〕各学校から第一小学校や白石中学校に申し込みを行い、各学校が借りに行く形を取っており、各学校では、月1回程度の利用実績となっている。

〔質疑〕クラスの全員ではなく、何台かずつ各学校に配備し、有効活用する中で同じ教育ができるという環境や施策も必要ではないか。

〔答弁〕各学校に配備できれば一番良いが、将来的に現在各学校にあるコンピュータ室のパソコンの更新時期にあわせてタブレット型パソコンへの切り換えをできればと考えている。

現在の利用形態は、グループで使用する、または、教師がタブレットを使い、電子黒板と連動させながら使用することが多い。利用期間は、長いところで1カ月ぐらい数台を利用してグループで活用している状況である。

今後、各学校において調査し、現在の利用に加え、さらにグループで各学校に長期にわたって貸し出しができるような体制をとっていきたいと考える。



決算審査特別委員会の現地調査（白石第二小学校でのタブレット型パソコンによる授業）

〔質疑〕古典芸能伝承の館の工事請負費の不用額について伺う。

〔答弁〕古典芸能伝承の館の屋根のふき替え工事において、当初の計画では、屋根材を銅板ぶきで考えていた。しかし、実施設計の段階で、冬季の積雪時、屋根から雪が滑って落ちる危険性もあることから、雪どめ材を屋根に設置する必要が出てきた。その材料はステンレス製であり、予定していた銅板との金属相性が悪く、材料の酸化が進んでしまうため、銅板からガルバリウム鋼板に屋根材を変更した。この屋根材の変更により、材料単価が安く抑えられ、コスト縮減が図られたため、不用額が生じたものである。

## 特別会計

〔質疑〕介護保険において、本市の総人口が減ってきており、1号・2号被保険者も前年度と比べると若干減ってきている。しかし、高齢化率は

伸びているという状況の中で、介護の環境というのは非常に厳しい状況にある。

そのような状況の中、地域包括支援センターや介護にかかわる職員は、日夜全力で仕事をしていると考えるが、現場として、マンパワーの不足を感じることはないのか伺う。

〔答弁〕やはり最前線に立つのは、地域包括支援センターと考えている。そのため、平成27年度において職員を2名増員しており、現在、何とか相談等に対応している。

## 企業会計

〔質疑〕下水道事業の監査意見書には、「さらなる経営の効率化と健全化が図られるように望むものである。」と書かれているが、なかなか厳しい環境の中で、下水道事業の経営の効率化や健全化をさらに図ることは可能なのか。平成26年度決算を踏まえて、その方針や考えを伺う。